

《業務目的》

桧山台地区の跡地利活用については、雄物川流域の自治体や民間企業と連携し地域活性化に向けて観光地として魅力のある施設を目指す。

令和9年度成瀬ダム完成に向けて、整備メニューの取りまとめを行い、当該地区の整備計画及び施設の運営・管理への民間参入を見据え、公募方法等に関する調査を行う。

《業務内容》

1. 計画準備

本業務の実施にあたり、業務目的・主旨を把握したうえで、業務計画を立案する。

基本計画を作成する上での意見聴取する各団体・組織等の調査を実施する。

2. 計画条件等の検討

令和6年度までの成瀬ダム地域意見交換会（なるセダムミーティング）の協議結果等を踏まえ、桧山台地区の利活用の方針、整備内容・レイアウト・規模等について検討する。また、整備にあたって事業費の確保や維持管理方法など課題等について整理する。

なお、上記を踏まえた基本計画図（イメージ平面図等）を作成のうえ、「なるセダムミーティング」・「成瀬ダム水源地域整備計画委員会」ならびに、「成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会・幹事会」に提示し、意見聴取（各1回を想定）を行う。

3. 基本計画

成瀬ダム地域意見交換会（なるセダムミーティング）ならびに、成瀬ダム水源地域ビジョン策定委員会・幹事会等の意見を踏まえて、桧山台地区の跡地利活用の基本計画として、以下をとりまとめる。

(1) 基本計画のとりまとめ

1) 計画の目的及び概要

2) 計画地の概要・方針

①自然及び歴史の特徴

②基本整備計画の基本理念・方針

3) 整備計画

①整備メニュー立案

②施設配置平面図 1枚

③主要断面図 3断面

④整備イメージスケッチ 半鳥瞰カラー2枚 想定

4) 管理・運営計画

・管理運営計画の基本内容（運営体制・維持管理体制等）

(2) 数量計算

概算工事費算出のための数量を算出する。

(3) 概算工事費

数量計算書を基に、概算工事費及び整備事業年次計画を作成する。

4. 民間参入公募方法等の整理

将来の当該地区の運営・管理への民間参入を見据え、公募（公告、管理運営仕様書等）の参考事例を調査し、東成瀬村で公募する方法等について整理する。

また、他事例を参考に、公募に関わる資料（公告、管理運営仕様書等）の素案を作成する。

5. 報告書とりまとめ

検討経緯、結果等を報告書としてとりまとめる。

6. 打合せ

当初、納品時、中間時 計3回の打合せ協議を実施する。